

| | | | |
|---------|------|-----------------------------------|------|
| 教科名 | 対象学年 | 使用した資料（参考にした資料） | TYPE |
| 国語 | 小学5年 | 授業アイデア集【小学校版】p.9, 10 | Ⅱ |
| 授業内容 | | 登場人物の人物像や相互関係を関係図に表そう。 | |
| 身に付けたい力 | | 登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながら読むことができる。 | |

| 教科名 | 対象学年 | 学校名 | 課題の見られた問題 | TYPE |
|---------|-----------------------------------|-----------|------------|------|
| 国語 | 5年 | 神川町立丹荘小学校 | 26年度 全国 A5 | Ⅱ |
| 授業の内容 | 登場人物の人物像や相互関係を関係図に表そう。 | | | |
| 身に付けたい力 | 登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながら読むことができる。 | | | |

事例1 登場人物の関係を、人物関係図にまとめる。『大造じいさんとがん』

教師作のショーウィンドウを使って、パーツのひとつに「人物関係図」があることを知らせる。

登場人物同士の関わり合いについて叙述を基に捉え、関係図に表す。

事例2 並行読書した登場人物をショーウィンドウで紹介する。

登場人物の相互関係について、ショーウィンドウを使いながら、説明し合う。

事例3 『雪わたり』の読み取りのために人物関係図に登場人物をまとめる。

四郎の気持ちが進中から変化していることを人物関係図に表す。

【授業のポイント】

- 事例1. 教師作のショーウィンドウを提示し、物語を読んで、紹介するためのパーツのひとつに人物関係図があることを知らせる。人物関係図では、登場人物に関わる対書写(行動や表情、会話)などに着目しながら人物像を整理する。次に、登場人物同士の関わり合いの根拠となる叙述を複数取り出す。そして、それらを基に、登場人物同士の関係を話し合い、人物関係図にまとめる。
- 事例2. 並行読書で読んだ登場人物をショーウィンドウで紹介するために「大造じいさんとがん」で人物関係図を作ったように、まず、登場人物の性格を表す言葉を探し、人物像を捉える。次に、登場人物同士の関わり合いについて叙述を基に捉え、関係図に表す。最後に、登場人物の相互関係について、ショーウィンドウを使いながら説明し合う。
- 事例3. 物語を読み、登場する人物を階級に書き出し、登場人物の確認をする。そして、それぞれの登場人物の人物像を叙述(行動や表情、会話)から押さえる。初発の感想を基にし、四郎の最初と最後の気持ちについて話し合い、四郎の気持ちが進中から変化していることに気付かせる。そして、話し合いを基に、人物関係図にまとめる。

本授業アイデア例活用のポイント

- ・人物の相互関係を捉えるためには、登場人物に関わる対書写(行動や表情、会話)などに着目しながら、人物像を捉えることが大切である。本アイデアは、物語を読んで、紹介したり、推薦したりする言語活動と関連付けることができる。

人物関係図を活用して読みこんでいく「大造じいさんとがん」の実践

【授業のポイント】

○人物関係図を物語分の読み取りのツールとして単元を通して活用することにより、相互関係を明確にしながら読めるようにする。

【授業の様子】

第1時：範読を聞き、初発の感想をもつ。

第2時：人物関係図の作り方

登場人物の関係を整理するための手段として人物関係図があることを知らせる。導入では人物関係図のイメージを持つために、ドラマやアニメで使われている実際の人物関係図を児童に見せた。その後誰もが知っている物語の「桃太郎」を例に自分たちで人物関係図を作らせ、それを見ながら物語を説明させた。

第3時：「大造じいさんとがん」の人物関係図の作成。

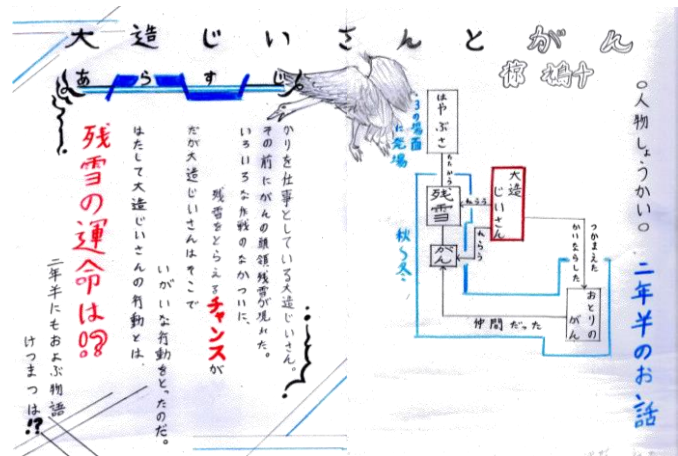
「大造じいさんとがん」の登場人物を確認した後、前時の学習を基に、人物関係図を作成した。各個人で作成した後、よりよい関係図に高めるためにグループで話し合いを行った。次時からの学習でわかったことを人物関係

図に付け足していくことと単元の最後に人物相関図を入れたショーウインドウにまとめることを伝えた。

第4時～第7時：教材文の読み取り。

- ・場面ごとの出来事を一文でまとめる。
- ・会話文から中心人物の心情の変化を読み取り、まとめる。
- ・情景描写から中心人物の心情の変化を読み取り、まとめる。
- ・クライマックス場面における中心人物の行動について考え、中心人物の心情の変化をまとめる。

第8時：読み取ったことを生かして、「大造じいさんとがん」をショーウインドウにまとめる。



【効果と留意点】

- ・単元の初めに作成した人物相関図に毎時間の読み取った内容を付け加える活動を通して、児童に物語を意欲的に読み込んでいく姿勢が見られた。また、人物相関図に整理することで、登場人物の関係が分かりやすくなり、単元を通して、読みを深めるための手助けとなった。
- ・人物相関図は児童になじみのないものであったため、第2時で丁寧に作り方について扱ったことはたいへん有効であった。
- ・今後も人物相関図を用いて登場人物の関係をまとめる活動を取り入れていくことで、さらに深い物語の読みができるようにしていきたい。